

栃木県高根沢町



エコ・アイス

贈呈理由 > 省エネ性に優れたエコ・アイスminiの採用により、CO₂排出量の削減とピーク電力の抑制を実現



高根沢町立北高根沢中学校

高根沢町は栃木県のほぼ中央に位置し鬼怒川を挟んで県都宇都宮市に隣接する自然豊かな町である。皇室の台所「宮内庁御料牧場」があることに加え、R & D企業を集積した研究開発型団地として「情報の森とちぎ」を立地し、工業団地と住宅団地などが発展してきたバランスのとれた町である。

エコ・アイス mini の採用により、省エネ・省コスト・省CO₂・電力負荷の平準化に貢献

地球温暖化などの影響により真夏の気温上昇がすすむ中、教室内の温度は30℃を超えることも多く、本町教育委員会では、熱中症など健康面の不安要素払拭と、生徒の集中力保持による学力向上を図るため、空調設備の導入を計画した。空調設備の選定にあたり、省エネ・省コストに加え、環境面にも重点をおき総合的に評価した結果、エコ・アイスminiを採用することとした。



エコ・アイスmini

東日本大震災以降、省エネ法に、「電気需要の平準化の推進」が追加されていることも、採用の大きな決め手となった。また、導入に際しては、学校ごとの不公平感をなくすため、一斉導入を指向した。空調設備に加え、電気設備容量増加による受変電設備工事・フルメンテナンスを含めた10年のリース契約とすることにより、財政面の課題もクリアできたことから、2016年度は高根沢町の全中学校にエコ・アイスminiを導入し、2017年度には全小学校（移転決定済の1校除く）への導入



教室内

も決定している。室外機は、生徒の教育活動の妨げとならないよう、校舎北側に設置。今後も、高根沢町は、学校における環境教育の充実を図る機会の創出を積極的にすすめていく方針である。

高根沢町立小中学校(全7校)

所在地：栃木県高根沢町内
竣工：2016年（中学校：2校）
2017年（小学校：5校）

■蓄熱設備概要

エコ・アイスmini 4,5,6馬力相当×162台
[パナソニック]
蓄熱槽：440ℓ×162台 [パナソニック]